

## 大宰府アカデミー・令和編 第9講 令和5年12月20日(水)質問及び回答(Q&A)

### 「大宰府都城の復元」

講師・回答：井上 信正先生(太宰府市教育委員会文化財課保護活用係長)

この度は大宰府アカデミー・令和編を受講いただき誠にありがとうございます。  
皆様からいただきましたご質問につきまして回答いたします。  
なお、ご質問につきましては、抜粋して掲載しておりますことをご了承ください。

Q/ 福岡市にある鴻臚館跡と太宰府市の客館跡とでは、どのような役割分担があったのでしょうか。

#### A/ 回答

講演で話をしましたように、難波館（大阪）と京内客館の関係が、筑紫館と大宰府条坊内客館（以下、条坊内客館）との間にもあったと考えています。難波館と京内客館それぞれの役割を伺う資料がないため想像するしかありませんが、船頭らは難波館・筑紫館など沿岸部の客館に滞在し、京や大宰府に向かった使節団は京内客館・条坊内客館に滞在したことは十分考えられるところです。

さて、条坊内客館が設置された当初（8世紀前半）の筑紫館（鴻臚館2期）では、北館・南館とも、布掘りと呼ばれる溝状の基礎構造をもつ塀で囲まれた空間しか見つかっておらず、内部構造がよくわかっていません。ただこのころの館の裾には石垣が設けられており、大宰府政庁使用瓦（鴻臚館式瓦）の出土量も多いことから、それなりの施設があったとして、掘立柱建物よりも遺構が消失しやすい礎石建物で構成された施設だった、との想定がなされています。

ですが、講演で説明しましたように、8世紀前半では礎石を使った官衙施設は特別です。条坊内客館は掘立柱建物であるため、筑紫館（鴻臚館2期）も掘立柱建物であれば自然だと思うのですが、それが見つからないとなると、船待ちのための簡易な宿泊施設しかなかったと考えるか、筑紫館の方が格上となる（つまり何らかの役割をもった）礎石建物があったと考えるか、両極端ですが、いずれかだろうと思います。施設の性格を大きく決定づける礎石建物が存在したと言い切ることに、私は躊躇を感じます。

唯一遺構として確かな「布掘り基礎の塀」がどのような構造物に復元ができるかによりますが、礎石建物と布掘り基礎の構造物とは、ミスマッチな組み合わせのようにも思います。この点は建築が専門でない私には判断が付きませんし、また大宰府政庁使用瓦（鴻臚館式瓦）の出土量が多い点をどのように理解するかという課題はありますが、遺構の現状をみると、鴻臚館1期北館（掘立柱塀がめぐる施設）の利用想定同

様に、簡易な建物による宿泊施設だったと考えたいところです。

文献史料がないため、遺跡のあり方から施設の役割を類推するしかありませんが、大宰府条坊内客館の発見・研究は、このように筑紫館（鴻臚館2期）の遺跡評価にも影響を与えていると言えます。両館の関係については、今後も注目していきたいと思えます。

**Q/ 条坊に設けられた溝（側溝）はどのような役割をもっていたのでしょうか。もし水を流すための溝であったとすれば、その勾配などを考慮する測量技術などもあったのでしょうか。**

#### **A/ 回答**

条坊側溝については、以前は、発掘担当者の中で、排水路としての機能の検討（平城宮の排水ルートの研究に倣った検討）もあったように思います。

わたくしは、条坊側溝は滞水・流水を前提にしたものではなく、基本的には路面維持と区画のためと思います。よって水源確保は必要ありません。ただ排水が必要な場所がありますので、堰等を必要とした可能性はあります。蔵司南地区ではかなり排水処理が必要だったようで、木樋も出土していたと思いますが、これと堰がセットになっている可能性はあると思います。

側溝を使った流水排水が考えられるのは、御笠川以北と鷺田川以南です。山からの排水処理が必要だからです。大宰府展示館の石組み溝は左郭一坊路に関わる排水施設とみています。なお流水が多いところでは経年で路面全体が下がり、大溝のようになってしまった事例もあります。

一方で、流水による排水をしていない事例は、御笠川と鷺田川の間（条坊の中央部）ではよく見られます。理由は、この付近の地盤（地山）にあります。まず地盤が流水に耐えられないことです（すぐ溝壁がくずれる）。もう一つは、地下に厚い砂堆積（旧宝満川から博多に流れる流路があった古い時代の堆積）があり、地中に染み込ませて排水することが可能であることです。この一帯では、互いにつながっていない細長い溝が連続して側溝となっている場所もあります。まさに路面維持と区画のための側溝だということがわかります。

測量技術については、遺跡を通して見る都市設計は驚くほどの精度をもっていますし、学校院に測量を扱う算師が置かれていることから、そうした技術はあったものと考えています。

**※ ご質問ありがとうございました。**